

立命館大学総合理工学研究機構 バイオメディカルデバイス研究会設置趣意書

医療における患者の Quality of Life (QOL)向上がますます重視される中、次世代医療として、がん治療などに有望視される内視鏡医療やドラッグデリバリーシステム (DDS) 医療、細胞バイオテクノロジーを駆使した再生医療等の高度医療の発展が期待されています。また、メディカルエンジニアリングの分野における工学の医療応用においては、外科分野に関して既にロボティクス技術を応用する研究開発が実績を出してきており、手術ロボットなどに見られる成果はますます高度化医療技術への要請を満たすことが期待されています。こうした社会的背景を踏まえ、立命館大学総合理工学研究機構バイオメディカルデバイスセンター（以下、バイオメディカルデバイス研究センター）は未来型医療に対して工学的アプローチを学際的な環境の中で育成発展、実行する場を提供し、産学官連携を重視した地域からグローバル規模までの展開をめざした活動を行うことを目的とします。

バイオメディカルデバイス研究センターでは、ナノテクノロジーから MEMS や μ TAS といった微細加工技術や精密加工技術、ロボティクス技術を用いたバイオメディカル応用のためのものづくり研究とその応用に取り組みます。さらに、バイオテクノロジー研究/診断のための標本分析技術/ドラッグデリバリーシステム研究/薬物の消化管吸収性予測に関する研究/再生医療研究/低侵襲医療研究/生体計測研究 およびこれらの支援ツールづくりと応用研究を行います。

バイオメディカルデバイス研究センターでは会員制で行う「バイオメディカルデバイス研究会」の活動を実施する予定です。当研究会では定期的に下記のような事業を進めてまいります。

- 著名な内外の研究者の講演会
- 国際会議における動向調査の報告
- 講習会、実習会
- 若手研究者による研究成果発表会

当研究会の活動は、会員の皆様のバイオメディカルデバイス技術に対するシーズとニーズの把握、研究開発課題、製品開発サポートを目的とし、皆様のご意見を取り入れた活動を進めてゆく所存です。

以上の主旨をご理解いただきバイオメディカルデバイス研究センターに対するご協力を賜りますとともに、是非とも「バイオメディカルデバイス研究会」へご入会頂き、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

立命館大学総合理工学研究機構バイオメディカルデバイス研究センター バイオメディカルデバイス研究会発起人

理工学部	マイクロ機械システム工学科	教授	小西 聡
薬学部		教授	藤田卓也
スポーツ健康科学部		教授	伊坂忠夫
理工学部	ロボティクス学科	教授	牧川方昭
理工学部	機械工学科	教授	飴山 恵
理工学部	マイクロ機械システム工学科	教授	鳥山寿之
生命科学部	生命情報学科	教授	天野 晃
情報理工学部	メディア情報学科	教授	陳 延偉